次期計画改定に至るまでの想定スケジュール

資料2 (別紙)

		2025(R7)年度							2026(R8)年度									2027(R9)年度															
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7		8 9 10	11 12	1 :	2 3	4	5	6 7	7 8	9	10	11	12	1 2	2 3	ビジョン	
(0)全般事項				第1			格会調	₹WG		124	` 本效。	ک≣≚			•	第1[け策連絡会議 ○第1回ヒグマ	WG ●第2回	计英语	奴△ 諍			●第1		策連絡 第1回			3	★ 第3期 管理計	画策第	É	
										対策 第2回									- 7.	対東選 第2回ヒ								•		可対策連続 第2回ビク			
(1)第2期計画期間の総括									0;	₩Z[凹]	_9 \	WG						住民·観光客ア		<u> </u>)作成		\	総招	の作	成	•	第2回€	*****	R8第2回WGで方向性を助言いただき、 R8第1回WGに案を提示。第2回WGで確 定する。	
(2)目標項目の見直し			地均	或関係	系者()意見	聴取	(手法	の検	討		→		地域	関係	者の	意.	見聴取地域案の	作成	١	WGを習	まえ	た調整									地域の多様な関係者の意見も聴取の 上、R8第2回WGまでに地域案を提示。 WGの助言を踏まえてR9第1回WGで確 定。	
(3)フレームワークの精査				改良	•			現実		案の扱 	皇案、 	委員。	上の個 	別意	ま見る 	₹換 	1,7	地域案の	作成	١	NGを路	まえ	た調整	WG	を踏る	きえた	調整(個体	数水	準反映)		地域関係者への意見聴取に向けて、一般向けに簡潔な図に改良。R8第1回WGでの管理の方策に関する議論を踏まえ第2回WGまでに地域案を作成。R9第1回WGにて確定したモニタリング方針も路まえ、第2回WGで確定する。	
(4)管理の方策の見直し					地	域案の	の作用	戉	→	•			wo	∙地♯	或ヒフ	アリン	゚゚゚゚゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙	を踏まえた調整	•		I	目標↓ 	項目を踏	まえた	調整							R7第2回WGまでに地域(管理主体)で管理方策の意向を整理。WGや地域の多様な関係者の意見も取り入れ、R8年第2回WGまでに確定。 ゾーニングの考え方はR7第1回WGでも相談。	
(5)モニタリングに関する検討		個体	水準 	設定· 	€= 	タリン 	/グの 	現実(的な	案の提 	案、	委員と				- ァ - ゕ	; = :	タリングの試行	\$\frac{1}{2}	Eニタリ:	ング項	目・体	本制の検	討	•							目標項目や管理方策に関する議論を踏まえ、R8第1回WG以降に方針を固める、それ以前に行政機関の予算、現場の体制等を踏まえた現実的な案を整理の上、WG以外の場で委員に個別相談をしておく。	